



大石田まつり

雨あがり笑顔はじけて花火咲く

今年の大石田まつり最上川花火大会は大雨の影響を受けて、16日から翌17日に順延されて開催されました。
降り続いた雨が上がり涼しい風が吹く17日の夕方、今年の新成人による成人神輿と大桂睦会による熱気あふれる神輿が本町から四日町までの通りを練り歩き、昭和6年から続く伝統の花火大会は大型のスターマインやフィナーレ「日本一の町民号20号玉10連発」など約3,000発の花火が打ち上がり、訪れた多くの観客を魅了しました。

粋な踊りと太鼓の競演 維新祭

18回目を迎えた維新祭。会場には昼すぎからお祭り屋台が並び、今年は(株)紀文食品によるおでんの販売も行われました。夕方には雨が上がり、県内外から集結した450名による華やかな踊りと力強い太鼓の競演に、大きな拍手が送られました。最も維新祭を盛り上げた団体(MIM)に輝いたのは宮城県涌谷町の「涌谷太鼓」。フィナーレでは観客も踊り手も一緒になって、元祖花笠踊りの大きな輪ができました。

